

# 一体型シュリンクラベラー想定仕様

## SSL-W SERIES ダブルヘッド型シュリンクラベラー (キャップ・ボディ同時装着機)

- キャップシールとボディシュリンクを同時に装着する事により、効率化及び省スペース化を実現！
- キャップシールとボディシュリンクの各々での単独運転が可能！
- スクリュー搬送及びチャック搬送 (方向規制可能) の2タイプの搬送システムを選択可能！



キャップシール装着



ボディシュリンク装着



### 特徴／セールスポイント

sales point

- 1 厚み 25μのフィルムを 300BPM で装着可能！フィルムの薄肉化を実現し、資材コストが大幅ダウン！
- 2 新開発のフィルム搬送機構を搭載 (特許出願中：2022-148816)  
横ミシン目が入っていても破れる事なく、安定したフィルム搬送を実現！【標準仕様】
- 3 様々な包材 (ハイブリッド 25μ～)、容器形状に対応 (丸、角、長角、オーバル)
- 4 フィルム位置修正装置により、ラベルのズレ修正が可能  
(特許出願中：2022-158171) 【オプション仕様】

### 機械仕様 Machine specification

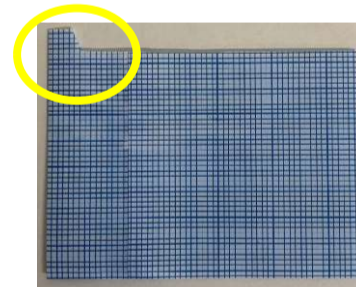
能力	300BPM	フィルム	折径	: 60 ~ 200 mm
兼用範囲	ボトル径 : φ40 ~ φ100 mm		カット長	: 75 ~ 240 mm
	ボトル高さ : 100 ~ 350 mm		フィルム厚さ : ハイブリッド 25μ～	

### 【4/20追加要件】

※電装系パーツ (PLC、サーボモーター等) は国産のものとする事。

※シュリンクのカット形状は右記ツマミができるようにすること。

ツマミ有り無しを対応できるようにすること。



NEW RELEASE

### 新型スチームトンネル



高温蒸気で  
炉長が  
半分に!

### 高温蒸気で炉長が半分に!

- ・独自開発の加圧装置により、蒸気を「加圧」する事で、従来の飽和蒸気よりも高温の蒸気を生成 (特許出願中：2022-130530) する事に成功！
- ・従来の飽和蒸気トンネルよりも蒸気が高温の為、炉長を短くする事が可能！
- ・炉長が短くなる事で、蒸気使用量も削減！ボイラー稼働も含め、全体ユーティリティの低減を実現！「過熱」ではなく「加圧」である為、ヒーターを使用しません！
- ・新開発ノズルにより蒸気を拡散し、ワークに万遍なく吐出されます。(特許出願中：2022-130531) また水滴も小さい為、付着水滴も従来の半分になります。
- ・ノズルを前後に調節可能。また、段数ごとにも調節可能な為、容器に合わせた調整が可能！
- ・最終炉は熱風式同様にサイクロン方式を採用！ (特許出願中：2022-130532)
- ・オプションで水滴除去の乾燥装置もラインナップ！

能力 ~600BPM (炉長1m)



水滴除去の乾燥装置